

1. 件名：福島第一原子力発電所における長期保守管理計画に係る面談
2. 日時：令和4年7月6日（水）13時30分～14時30分
3. 場所：原子力規制庁6階会議室
4. 出席者

原子力規制庁 原子力規制部

東京電力福島第一原子力発電所事故対策室

横山係長

松田室長補佐（TV会議システムによる出席）

検査グループ 専門検査部門

山元首席原子力専門検査官、丸山主任原子力専門検査官

福島第一原子力規制事務所（TV会議システムによる出席）

黒川原子力運転検査官

東京電力ホールディングス株式会社（TV会議システムによる出席）

福島第一廃炉推進カンパニー

プロジェクトマネジメント室 担当2名

福島第一原子力発電所 担当6名

5. 要旨

○原子力規制庁は、東京電力ホールディングス株式会社より福島第一原子力発電所の事業者が行う施設定期検査における機器の保守管理の状況確認に関し、資料に基づき以下の説明があった。

- 検査担当箇所にて実施している検査前確認の内容について
- 長期保守管理計画に関し、バウンダリ機能を要求する機器でBDM からTBMに見直した実績について
 - ✓ ALPS系の機器
 - ✓ HEPAフィルタ
 - ✓ 屋外一時保管エリアの瓦礫等収納容器
- 震災前から使用している設備での分解点検の具体例について

○原子力規制庁は、上記説明内容について説明を受けた。

6. その他

資料：

- 施設定期検査の見直しにあたって
- 施設定期検査（社内）業務プロセス